



亀中だより

No.24 令和6年10月23日 文責 岡田

For The Students!

令和6年度 後期生徒会始動!

9月9日に行われた後期生徒会役員選挙の結果を受け、30日には生徒集会で認証式を行いました。新たな後期生徒会役員・委員長による活動が始まっています。後期は前期と違い、3年生に被選挙権はなく、1,2年生が主体となるフレッシュな構成です。新役員、委員長のみなさんの活躍を期待しますが、そこには全校生徒の協力は欠かせません。みんなで力を合わせて行きましょう!



<後期生徒会役員>

会 長	菅原 大和	(2-1)
副会長	中林 莉愛	(2-2)
	相川 鈴美	(2-5)
	垣見 一颯	(1-1)
	野間 結華	(1-5)
生活委員長	石井 瑠花	(2-6)
美化委員長	大河内 琉楠	(2-2)
保健委員長	伊藤 海光	(2-2)
安全委員長	吉井 大河	(2-2)
福祉委員長	伊達 麟太郎	(2-5)
図書委員長	福島 由奈	(2-3)
広報委員長	奥田 陽向	(2-5)

一隅を照らす これすなわち国宝なり

「一隅(いちぐう)を照らす これすなわち国宝なり」この言葉は、比叡山延暦寺において天台宗を開いた最澄(767~822)の言葉です。「一隅」とは今あなたがいる場所を指します。つまりこの言葉は、「家庭や学校など、自分自身が置かれたその場所で、精一杯努力し、明るく光り輝くことのできる人こそ、何物にも代え難い貴い国の宝である」という意味だそうです。一人ひとりが、それぞれの持ち場で最善を尽くすことによって、社会が明るく照らされ、よりよくなっていくという考え方です。

学校は一つの小さな社会だといえます。後期に切り替わり、一人ひとりに新たな役割が決まりました。社会や学校全体がよりよくなってほしいという気持ちは誰にもあるでしょう。しかし

それは、他人の力によって作ってもらうものではありません。よりよい社会、学校を築いていくカギは、ここで生活をする私たち一人ひとりの行動にあるのではないのでしょうか。「一隅を照らす」一人ひとりの力で、よりよい亀山中学校にしていきましょう!

